

令和6年2月9日
教育総務課

区立中学校敷地内への飲料用自動販売機試行設置の検証状況について

令和4年6月1日より区立中学校敷地内に試行として設置した飲料用自動販売機（以下「自販機」）の検証状況について報告する。

1 自販機の設置状況

- (1) 試行設置校 区立桜丘中学校
- (2) 設置目的 災害時の飲料水確保、熱中症予防対策及び生徒、教職員、学校開放利用者等の利便性の向上
- (3) 販売品目の条件 ペットボトルの容器は不可とする。ただし、水、無糖のお茶、熱中症対策飲料はこの限りではない。
- (4) 設置事業者 ダイードリンク株式会社（入札により決定）
- (5) 試行設置期間 令和4年6月1日から令和7年3月31日まで
（2年10か月）
- (6) 貸付金額 月額20,460円（電気料金を除く）

2 自販機の利用状況

(1) 自販機利用に関するガイドライン

令和4年度に学校において自販機利用ガイドラインを作成した。令和5年度については、新入生に対する4月のオリエンテーションや全校朝礼において生徒会作成の動画も活用しながら周知を行った。

【ガイドラインの概要】

- ・校内で飲む際は、容器にカバーを付けるか、水筒に移す。もしくはその場で飲み切る。
- ・空の容器は資源として必ず専用のリサイクルボックスを利用する。
- ・購入できる時間帯は登校時刻8時25分まで、2・3時間目の間の10分休み、昼休み及び放課後を原則とする。
- ・現金もしくは交通系ICカードのみの購入とし、学校に持参する金銭はできるだけ少額とする。
- ・生徒同士のお金の貸し借りは禁止とする。
- ・コーヒー飲料の購入は大人のみ可能とする。

(2) 利用者アンケート等

全校生徒、全保護者を対象にアンケートを実施した。結果は別掲のとおり。

(3) 令和4年6月～令和5年12月の売上状況

	令和4年度		令和5年度		売上本数 対前年度比	売上額 対前年度比		
	売上本数		売上額	売上本数			売上額	
	缶	ペットボトル		缶				ペットボトル
4月	—	—	—	230本	27,770円	—	—	
	—	—		94本	136本			
5月	—	—	—	242本	30,340円	—	—	
	—	—		30本	212本			
6月	677本	369本	75,700円	281本	35,490円	41.5%	46.9%	
	308本			5本	276本			
7月	616本	246本	68,680円	307本	39,370円	49.8%	57.3%	
	370本			10本	297本			
8月	122本	45本	13,760円	36本	4,600円	29.5%	33.4%	
	77本			3本	33本			
9月	503本	236本	56,340円	116本	14,730円	23.1%	26.1%	
	267本			6本	110本			
10月	512本	283本	56,850円	251本	30,690円	49.0%	54.0%	
	229本			11本	240本			
11月	353本	198本	40,200円	179本	22,240円	50.7%	55.3%	
	155本			15本	164本			
12月	320本	209本	37,100円	117本	15,120円	36.6%	40.8%	
	111本			41本	76本			
1月	271本	180本	31,580円	—	—	—	—	
	91本			—	—			
2月	229本	148本	26,420円	—	—	—	—	
	81本			—	—			
3月	206本	127本	24,120円	—	—	—	—	
	79本			—	—			
月平均	381本		43,075円	195本	24,483円	51.3%	56.8%	

※令和5年7月24日～8月27日は学校の工事により販売休止

(4) 使用電力量

自販機設置に関する土地貸付契約に基づき、使用電力の費用負担は設置業者が行う。各年度末に自販機設置の子メーターにより使用電力量を確認している。

①令和4年6月1日～令和5年3月31日（10か月）の使用電力量

1,622.30kwh（1か月あたりの平均：162.23kwh）

②令和4年6月1日～令和5年3月31日（10か月）の電気料金

56,928円（1か月あたりの平均：5,692円）

③想定される年間使用電力量及び料金（①及び②より推計）

年間想定使用電力量：1,946.76kwh

年間想定電気料金：68,304円

3 設置校の環境教育等の取り組みについて

(1) 自販機脇に設置のリサイクルボックスの活用と分別の指導

校内では資源の分別を以前から実践しており、リサイクルの意識は高く、日常の行動となっている。自販機の設置にあたっては、生徒会が作成したポスターを掲示するなど、飲用後の分別の徹底に取り組んでいる。

(2) プラスチック・スマートキャンペーンの実施

水筒持参によるプラごみ減量の取り組みと、ペットボトルのリサイクルの取り組みを共に推進することを、生徒朝礼等で生徒会が呼びかけることを継続して行っている。水筒の持参と自販機の活用のバランスについては、生徒自身が考えている。

(3) SDGsと関連付けた計画的な学習指導

SDGsの17の目標について、教育活動のさまざまな場面に関連付けている。自販機についても、「つくる責任、使う責任」や「エネルギーに関する」環境問題と関連づけ、各教科で扱うようにしている。

(4) 熱中症予防の指導

水筒を持参する生徒が多いうえに、補完的に自販機による飲料の購入ができるようになったことで、誰にとっても水分の補給が容易となった。体育の授業・部活動・行事等の途中でも給水タイムを設定するなど、熱中症予防には学校全体でも取り組んでおり、生徒も熱中症予防のため、水や熱中症対策飲料を購入する割合が多い。

4 試行設置における評価等

(1) 学校生活への影響について

試行設置開始から2年目に入り、中学校敷地内にある自販機の存在が常態化してきている。また、金銭管理や利用ガイドラインの浸透により、自販機に関連したトラブルなどもなく、利用状況も落ち着いている。

(2) 売上状況等について

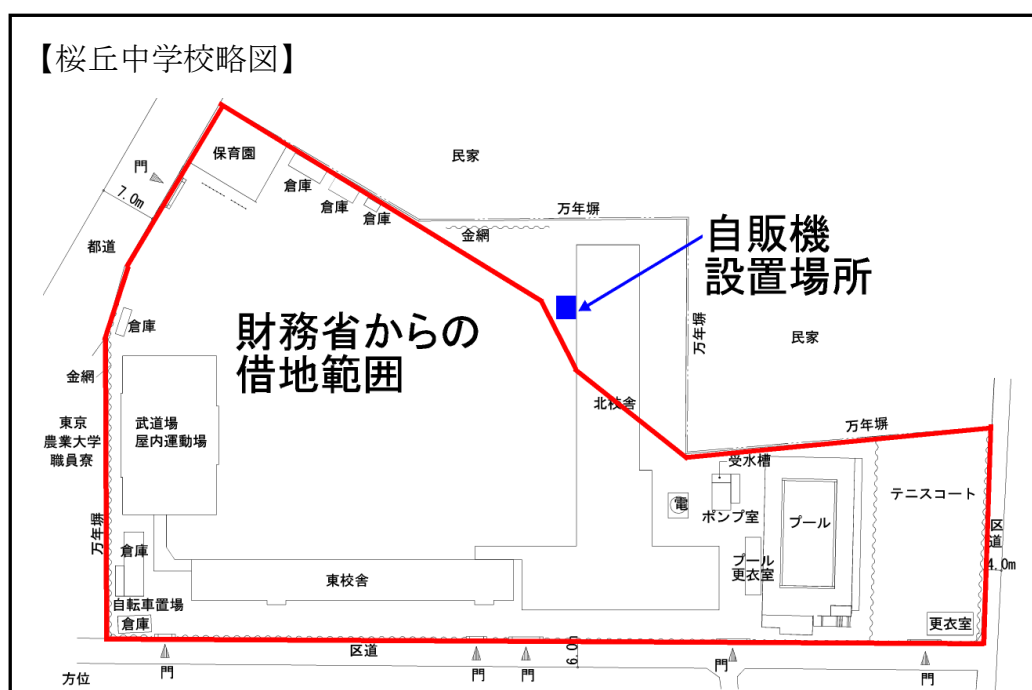
令和5年度の売上本数、金額ともに昨年度比で概ね50%に落ち込んでいる。また、アンケート結果より、自販機利用者は前年度の74%から43%になっており、利用者は全校生徒の3割以下になっている。

(3) 自販機設置事業の収支状況について

令和5年度の月平均の売上額は、設置事業者が負担する貸付金額及び電気料金の月額を下回っている状況である。

(4) 設置場所について

桜丘中学校では当初、利便性を考慮して屋内運動場前の設置を希望していた。しかし、希望場所は借地している国有地上であり、財務省から自販機の設置は認められないとの見解があり、区有地上の北校舎前に設置をした。



5 今後の方向性

引き続き、学校生活への影響などに関する検証を行い、学校現場とも十分協議をしたうえで、令和7年度以降の自販機の取扱いについて判断していく。

利用者アンケートの項目と結果

【生徒：回答数426名（全生徒数686名）】

※前回令和4年度に実施したアンケート（回答数638名）と同じ項目に関しては、比較対象として「R4回答数」「R4比率」を掲載

① 今年度、本校の自販機を利用したことがありますか。

回 答	回答数	比率	R4 回答数	R4 比率
はい	186	43.66%	476	74.61%
いいえ	240	56.34%	162	25.39%

② ①の質問で「いいえ」を選んだ人はお答えください。それはなぜですか（複数回答可）

回 答	回答数	比率	R4 回答数	R4 比率
水筒をもってきているから	184	46.34%	104	64.20%
学校の水道や冷水器を利用するから	77	19.39%	11	6.79%
お金がもったいないから	58	14.60%	31	19.14%
飲みたい飲料が売っていないから	55	13.85%	—	—
その他	23	5.79%	16	9.88%

③ ①の質問で「はい」を選んだ人はお答えください。どのくらいの頻度で利用していますか。（近い回答を選択してください）

回 答	回答数	比率	R4 回答数	R4 比率
ほぼ毎日	0	0.00%	25	5.25%
週に2～3回	8	4.30%	103	21.64%
月に1～2回	29	15.59%	98	20.59%
これまでに数回	149	80.11%	250	52.52%

④ ①の質問で「はい」を選んだ人はお答えください。

本校の自販機を利用する際のガイドラインで定めた「アルミ缶やペットボトルは備え付けのリサイクルボックスで資源循環させる」ことを守っていますか。

回 答	回答数	比率	R4 回答数	R4 比率
はい	158	84.95%	455	95.59%
いいえ	28	15.05%	21	4.41%

⑤ 本校に自販機があることについてどう思いますか。(複数回答可)

主 な 回 答	回答数	比率	R4 回答数	R4 比率
熱中症を予防するのに役立つ	288	28.24%	458	25.16%
災害時等に飲み物の確保ができる	218	21.37%	348	19.12%
環境問題やプラスチック問題を考えるきっかけになる	63	6.18%	205	11.26%
金銭管理を学ぶきっかけになる	95	9.31%	168	9.23%
学校で飲み物を買えるのでうれしい	247	24.22%	385	21.15%
学校にはなくても良い	21	2.06%	13	0.71%
特に意見はない	82	8.04%	80	4.40%
その他	6	0.59%	30	1.65%
少し安く飲み物を買えるのでうれしい	—	—	133	7.31%

⑥ ペットボトルを含むプラスチック問題やリサイクル、SDGs などに関して、日々の生活で取り組んでいることがあれば教えてください。(記述意見)

《回答内容に応じて分類》

分 類	回答数	主な意見等
分別する	57	・ペットボトルはラベル・キャップ・ボトルを分けて捨てる。
水筒持参	36	・水筒を持つようにしている。
エコバッグ持参	27	・ビニール袋をもらわず、エコバッグを持つ。
リサイクル	22	・リサイクルをするようにしている。
節水・節電	7	・水を出しっぱなしにしない、節電をするようにしている。
その他	7	・環境にやさしい商品を購入するようにしている。 ・プラスチックストローを使わないようにしている。
なし	27	

- ⑦ 本校の自販機についてその他意見があれば教えてください。(記述意見)
《回答内容に応じて分類》

分類	回答数	主な意見等
品目	53	・ラインナップをもっと増やしてほしい。
運用	11	・生徒が利用できる時間帯を増やしてほしい。
賛成意見	10	・自販機があつて助かる。
価格	7	・価格についてももう少し安くしてほしい。
場所	3	・自販機の場所が不便な場所にあるので買いにくい。
災害	2	・災害の時に役立つからよいと思う。
熱中症対策	1	・熱中症対策になるからよいと思う。
反対意見	4	・冷水機でいいと思うし、なくてもよい。
なし	43	

【保護者：回答数412名】

- ① 学校に自販機が設置されていることをご存じですか。

回答	回答数	比率
はい	371	90.05%
いいえ	41	9.95%

- ② 自販機が設置されていることについて子どもと話題になりましたか。

回答	回答数	比率
はい	290	70.39%
いいえ	122	29.61%

- ③ ②の質問で「はい」を選んだ方はお答えください。どのような内容でしたか。
(複数回答可)

回答	回答数	比率
熱中症予防について	187	38.72%
金銭の管理について	129	26.71%
災害時等の飲料の確保について	58	12.01%
環境問題やプラスチック問題について	13	2.69%
その他	96	19.88%

- ④ 環境問題への配慮として現在ペットボトルの取り扱いを限定し、缶を多く入れていることや同じ品目で缶とペットボトル扱っていることをご存じですか。

回 答	回答数	比率
はい	31	7.52%
いいえ	381	92.48%

- ⑤ ④のような環境に配慮した自販機について、どう思いますか。

回 答	回答数	比率
よいと思う	300	72.82%
どちらでもない	60	14.56%
あまり意味はないと思う	52	12.62%

- ⑥ 生徒が少額のお金（ICカード含む）を持参して自販機を利用することについて、どう思いますか。

回 答	回答数	比率
よいと思う	305	74.03%
どちらでもない	90	21.84%
よくないと思う	17	4.13%

- ⑦ 生徒以外の地域の方や学校開放等でも普段から使ってよいことを知っていますか。

回 答	回答数	比率
はい	123	29.85%
いいえ	289	70.15%

- ⑧ 学校に自販機があることについてどう思いますか。

回 答	回答数	比率
良い	287	91.1%
必要ない	15	4.8%
その他	13	4.1%